

平成の京町家、見に来て

京都市内産の木材を使った住宅の普及のため、林業や建築業、不動産業などの関係者でつくるグループ「京山々・木の家づくりの会」が28日、北区紫

野東御所田町にモデルハウスをオープンさせた。内装には市内産のヒノキとスギを使っており、ハウス内で住宅購入に関する相談も受け付ける。

北区にモデルハウス完成

会は、土地の購入から木材の供給、設計、施工まで一貫したサービスを提供している。完成したモデルハウスは木造二階建てで、北山や京北地域で生京の建築関係者設計産されたヒノキとスギを柱やはりに使い、床や壁、窓枠、階段にも木材を活用した。省エネなど環境に配慮した設計が施されている。



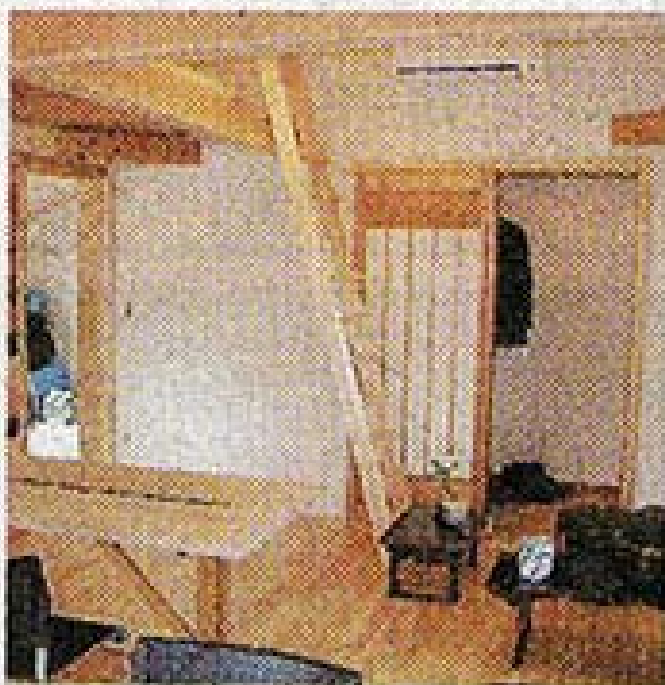
京都市内産の木材を普及させるために建てられたモデルハウス（京都市北区紫野東御所田町）

市内産スギ・ヒノキ 内装にふんだん

二十八日の完成式典で、西巻優会長は「伝統的なかたちからは逸脱しているが、『平成の京町家』の候補として提案したい」と話し、来賓の門川大作市長もあいさつした。モデルハウスは午前十時から午後四時まで見学できる。中京区の住宅展示場にあった会の事務所もハウス内に移した。☎075(432)7997。

(沢田亮英)

京都産材モデルハウス完成 25



京都市内産木材を使った住宅の普及を目指し、林業や建築業など関係業者でつくるグループが北区に市内産活用のモデルハウスを開設。